

令和3年度 第3回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時：令和4年2月16日（水）午後2時00分～3時35分

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席者：【会場10名】アンドリュー・デュアー委員（会長）、高橋綾子委員（副会長）、
林恵哲委員、門屋伸子委員、久津輪雅委員、蒲勇介委員、
山田智直委員、米原木ノ実委員、井戸一元委員、田中一慶委員
【オンライン2名】嶋田学委員、平賀研也委員
【欠席3名】堀井美紀委員、中村正信委員、千葉佐代子委員
（事務局）吉成総合プロデューサー、川合館長、野々山係長、土谷係長、
川瀬係長、梅村係長、中村係長、野村副主査

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

（1）2021年度事業実績について
<ul style="list-style-type: none">・中央図書館にかなりのエネルギーがかかっており、それだけ利用も充実しているが、全域的にどのようなサービスが展開されているのか。・イベントへの参加と貸出数とはあまり繋がっていない印象だが、大変面白い傾向であり、新たな事業や展開のヒントがあると思う。・コロナ禍で得たアーカイブ化のスキルを用いて、図書館として後世まで残すコンテンツと、その時に共有すべきものと開催前に位置付けておくとよい。
（2）第2次岐阜市子どもの読書活動推進計画の進捗状況について
<ul style="list-style-type: none">・学校司書の指導や実際に学校へ出向くなど、市立図書館の動きが見えるようになり、学校の読書活動に関わっていることを教員も実感している。・現在タブレット端末は私的な利用を制限されているが、同級生の感想が読めるなどSNS的な使い方ができる。共読のツールとして目的を広げたら面白い。・「本のお宝帳」は学校で子どもたちの読書意識を高めているので、私的な可視化できるストック帳として残しつつ、共有するものはアプリで開発して新しい提案ができるとうい。
（3）第3次岐阜市子どもの読書活動推進計画（案）について
<ul style="list-style-type: none">・基本理念の「生き生きとした読書環境を用意するのは、すべての大人の役割です。」は、すべての大人にも関係があるとアピールできている。・保護者向けに、子どもに家庭で本を読ませるアイデアなどの実践を紹介してもよい。・中学生自身が本を読みたくても、受験勉強で読ませてもらえない。子どもの発達や将来計画に役立つと親には訴えたい。・中学生にはQRコードを貼り付けて、紙を通してスマートフォンから入っていくのも一つの方法。位置付けやターゲットを明確にするべき。